



# ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2020年(令和2年)3月25日号 No.1821

## 目次

■ <b>ロシア極東経済と極東シベリアの石油ガス開発(上)</b> .....	1
■ 『ロシアNIS調査月報』2020年4月号のご紹介 .....	8
■ <b>新型コロナウイルス感染拡大に関するロシアの対応</b> .....	ROTOBOモスクワ事務所 9
■ <b>トピックス</b> .....	20
世銀災害対策事業にドローンサービスで貢献/20	
モルドバで山形企業が農業転換のサポート/20	
ANAの成田～ウラジオストク便が就航/21	
東洋トランスがロシア向け混載サービス拡大/21	
伏木富山港にシベリア鉄道輸送の新補助金/21	
JALモスクワ～東京便が一部運休へ/21	
NIS諸国における新型コロナウイルス関連のニュース/21	

## ロシア極東経済と極東シベリアの石油ガス開発(上)

### はじめに

ロシアNIS貿易会では、ロシア科学アカデミー極東支部経済研究所(ハバロフスク市)のミナキル博士およびロシア科学アカデミー・シベリア支部エネルギーシステム研究所(イルクーツク市)のイジユブルジン主任専門家を招聘し、3月2日(月)に東京、3月3日(火)に新潟市において産業協力・企業間交流セミナー「ロシア極東経済と極東シベリアの石油ガス開発」を開催した(新潟は環日本海経済研究所との共催)。『ロシアNIS経済速報』では、その内容を2回に分けて掲載することにした。今号ではロシア科学アカデミー極東支部経済研究所のミナキル博士の講演内容を紹介する。

### ロシア極東の経済動向と極東開発政策の論点

ロシア科学アカデミー極東支部経済研究所

P. ミナキル

**極東連邦管区の領域拡大** 極東における連邦管区は、9つの連邦構成主体(州・地方・共和国・自治州・自治管区)を基に2000年に設置された。2018年11月、もともとシベリア連邦管区に属していたブリヤート共和国とザバイカル地方が極東連邦管区に編入され、これによって極東連邦管区を形成する連邦構成主体は11となった。新しく加わった2つの連邦構成主体(ブリヤート共和国とザバイカル地方)は、以前からずっと極東に加わりたいと主張してきた。